

# 保証書

## お客様へ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本保証書は右記の条件に従い、下記製品に対する保証サービスをご提供申し上げるものです。記入事項に記載のない保証書は無効となりますので、記入の有無をご確認の上、記入漏れの事項がありましたら、直ちにお買い上げの販売店にお申し付けください。本保証書は、再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

## 販売店様へ

本保証書は、所定事項を記入して効力を発揮するものです。必ず、お買上日・貴販売店名・ご住所・電話番号をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。



- 本製品は日本国内での使用を前提とするもので海外ではご使用になれません。
- 本製品は緊急事態等を未然に防ぐ装置ではありません。
- 本製品の故障、通信の不具合などによって発生した損害について当社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

## 保証規定

正常なご使用状態のもとで保証期間内に万が一故障した場合は、保証規定にしたがって無料にて故障の修理をさせていただきます。保証期間はお買い求めになった日より1年間です。次のような場合には、保証期間内でも有償修理となります。

- 本製品の説明書に記載された使用方法および注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障・損傷の場合。
- お買い上げ後の輸送や振動、落下、衝撃などお取扱いが不適当なため生じた故障・損傷の場合。
- 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧や指定外の電源使用などにより生じた故障・損傷の場合。
- 接続している他の機器、その他外部要因に起因して生じた故障・損傷の場合。
- 不適当な修理、調整、部品交換などをされたことにより生じた故障・損傷の場合。
- 本保証書のご提示がない場合。
- 本保証書の所定事項に未記入、あるいは字句を書き換えられている場合。
- 本保証書に販売店印のない場合。

本製品の故障・損傷、またはその使用中に生じた直接または間接の損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。弊社では出張修理は対応しておりません。保証期間経過後の修理、アフターサービスなどについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはサービス実施店へお問合せください。

**1年間保証** お買い求めの販売店でご購入の年月日と販売店名を記入してもらってください。

お客様		ご住所	
お名前		電話番号 ( )	
販売店	住所	お買い上げ年月日	年 月 日
	店名	電話番号 ( )	
機種名 <b>DVS-2</b>		印	

0905-00024A1058

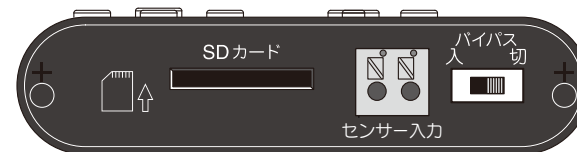
**コロナ電業株式会社** <http://www.corona-dengyo.co.jp>  
〒115-0045 東京都北区赤羽 1-64-11 TEL. 03(3903)9711 FAX. 03(3903)9710

モーションディテクトビデオレコーダー  
(動作検知機能付レコーダー)



# DVS-2

## 取扱説明書(保証書付)



### ご使用の前に

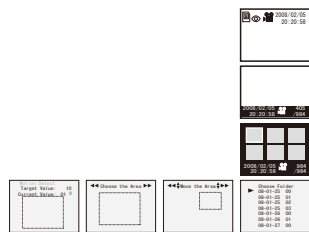
- 04 安全上のご注意
- 06 梱包内容
- 07 特徴・仕様
- 08 各部の名称
- 10 機器の接続
- 12 SDカード(別売)について

### すぐにつかう

- 14 はじめてみましょう!

### 画面の説明

- 16 カメラ画面
- 17 再生画面
- 18 サムネイル画面
- 19 設定画面



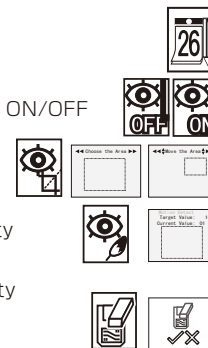
### アイコンの説明

- 20 設定画面
- 22 削除



### 設定のしかた

- 24 日付・時間の設定 Time Setup
- 26 動作検知機能 ON/OFFの切り替え Motion Detect ON/OFF
- 28 動作検知の範囲設定 Motion Detect Area
- 30 動作検知の感度設定1 Motion Detect Sensitivity
- 32 動作検知の感度設定2 Motion Detect Sensitivity
- 33 フォーマット Format



### 操作のしかた


- 34 モード MODE
- 35 再生モード
- 36 サムネイルモード
- 38 データ削除 Delete One
- 39 データ全削除 Delete All
- 40 フォルダ選択 Choose Folder



この度は「DVS-2」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。電源を入れる前に、本説明書をよくお読みになってからご使用ください。また、末永くご愛用いただくために、この説明書は必ず大切に保管していただきますようお願いいたします。


この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## ■ 絵表示について

 **警告** この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性があることを示します。

 **注意** この注意事項に反した取り扱いをすると、人が障害または物的損害を負う可能性があることを示します。


 △記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示します。(左図は感電注意)


 ●記号は、必ず守っていただきたいことから示します。(左図は電源プラグをコンセントから抜く)


 ○記号は、禁止行為を示します。記号の中の図は禁止事項を意味します。(左図は分解禁止)


 その他の指示内容を告げるものです。

## 警告


 **水などかからないようにしてください**  
 ■ 本機の上に(花瓶、植木鉢、コップ)や水などの入った容器などを置かないでください。水などがこぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。


 **分解・改造しないでください**  
 ■ 本機を分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電等の事故の原因となります。

 **異常の状態で使用しないでください**  
 ■ 万一、発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電等の事故の原因となります。すぐにACアダプタをコンセントから抜いてください。

 煙が出なくなったことを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。


## 警告


 **この機器の取扱いについて**  
 ■ 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電等の事故の原因となります。必ず付属のACアダプタをご使用ください。  
 ■ 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理やり曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し火災・感電等の事故の原因となります。  
 ■ 濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

 **異物が入った時は**  
 ■ ACアダプタを濡らさぬようご注意ください。火災・感電等の事故の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。  
 ■ 万一、異物や水が本機内部に入った場合は、ACアダプタを抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電等の事故の原因となります。特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。

 **落としたり、破損したときは**  
 ■ 万一、本機を落としたり、破損した場合はACアダプタを抜いて販売店にご相談ください。


## 注意

 **設置場所について**  
 ■ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。  
 ■ 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電等の事故の原因となることがあります。  
 ■ 直射日光の当たる場所、車のトランクやダッシュボードなど高温になる場所で長時間使用・保管しないでください。キャビネット等が熱により変形することがあります。  
 ■ 屋外や室内等の設置において、温度差により結露(水滴)が発生しやすくなりますのでご注意ください。また、結露が発生しやすい場所(風呂場、台所や水まわり等)に設置しないでください。結露しますと電子部品の誤作動・故障・寿命の短縮等の原因となります。

 **この機器の取扱いについて**  
 ■ 電源コードをストーブ等の熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電等の事故の原因となります。  
 ■ ACアダプタをコンセントから抜くときは電源コードを引っ張らないでください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電等の事故の原因となります。

 **ご使用にならないときは**  
 ■ ご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。

 **本機の上に重い物を置かないでください**  
 ■ 重い物を置くと、置いた物のバランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

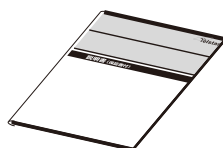
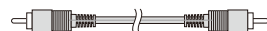
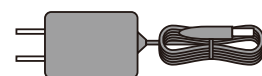
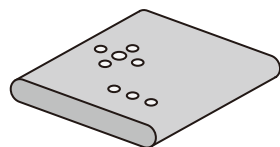
 **免責事項**  
 ■ 本製品は、盗難防止器具・災害防止器具ではありません。本製品の動作の正常・異常にかかわらず、犯罪・事故が発生した場合の損害については、当社は一切責任を負いません。  
 ■ 製品の設置(取り付け・取り外しなど)により生じた建物等への損傷やその他の損害について、当社は一切責任を負いません。  
 ■ 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。  
 ■ 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切責任を負いません。

## 梱包内容

直射日光が当たる場所や高温多湿、雨や水滴が直接かかる場所、ほこり、振動の多い場所、水中を避けて設置してください。

パッケージの中に下記のものが入っていますのでご確認ください。

- DVS-2 (本体) . . . . . × 1
- 付属ACアダプタ . . . . . × 1
- 映像ケーブル (1.4m) . . . . . × 1
- すべり止めゴム . . . . . × 4
- 取扱説明書 (保証書含む) . . . . . × 1



### 注意事項

- カメラの機種・撮影環境により検知が異なります。予め記録設定に熟慮したうえでご使用ください。
- 記録データをご確認する場合、SDカードの容量によっては、データ量が膨大になります。パソコンでのご確認をおすすめします。
- 動作検知中(LED点滅中)は、電源スイッチを絶対に切らないでください。

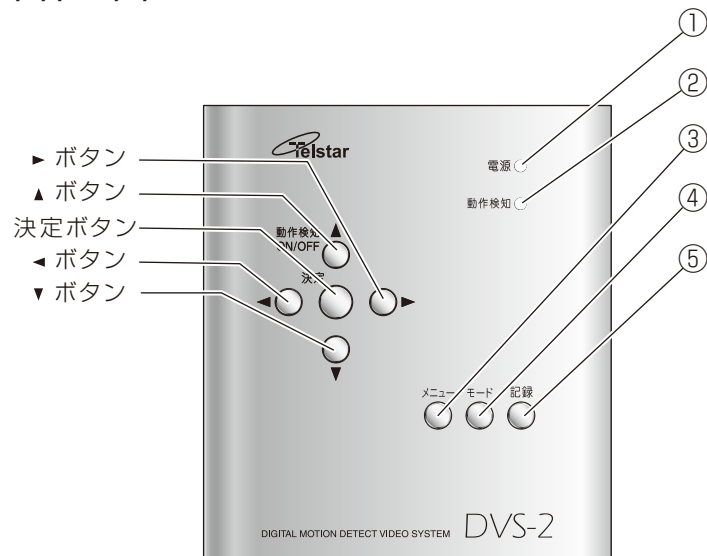
## 特徴

- 映像の変化から動体を検知するモーションディテクション機能があり、感度を設定することが可能。
- 内蔵メモリ (32MB) により動画約30ファイルを保存可能。
- 汎用性の高い「SDカード」(別売)により最大2GBまでのメモリに対応。
- カメラと組み合わせることで、コンパクトに防犯システムの構築が可能。
- パソコン上でデータ管理が可能。(カードリーダーが別途必要)
- 赤外線センサー(別売)やドアセンサー(別売)等の外部センサーとの連動が可能。

## DVS-2仕様

型名	DVS-2
映像入力	NTSC,1系統
映像出力	NTSC,1系統
フレームレート	5fps
動画画面サイズ	320×240
動画形式	AVI
動画コーデック	モーションJPEG
動画記録時間	約10秒(固定)
内蔵メモリ容量	32MB
使用可能最大メモリ容量	2GB
動画記録枚数(内蔵メモリ使用時)	約30ファイル(画像データにより大きく異なります)
モーションディテクション機能	感度001~099、位置及び範囲調整可能
センサー入力	無電圧接点入力
動作温度	0°~40°
外形寸法	W:107.5×D:120×H:26
質量	約230g
電源	ACアダプタ DC5V
消費電流	約370mA

## 本体正面



### ①電源LED

本機の電源がオンの状態のときに点灯します。

### ②検知LED

動作検知が稼働中に点灯します。  
データを記録するときに点滅します。

### ③メニューボタン

各種メニューに入るときに押します。

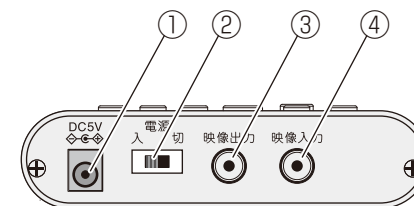
### ④モードボタン

各種モードに入るときに押します。

### ⑤記録ボタン

任意の映像をメモリに記録するときに押します。  
再生モード時、メモリ内のフォルダを選択するモードにするときに押します。

## 配線パネル



### ①電源入力端子

専用ACアダプタのDC出力プラグを差し込みます。

### ②電源スイッチ

本機の電源のオン/オフをします。

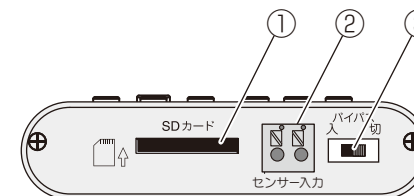
### ③映像出力端子

モニタ(テレビ)等に接続します。

### ④映像入力端子

カメラの映像出力端子に接続します。

## 差込口パネル



### ①SDカード差込口

SDカードの差込口。

### ②センサー入力端子

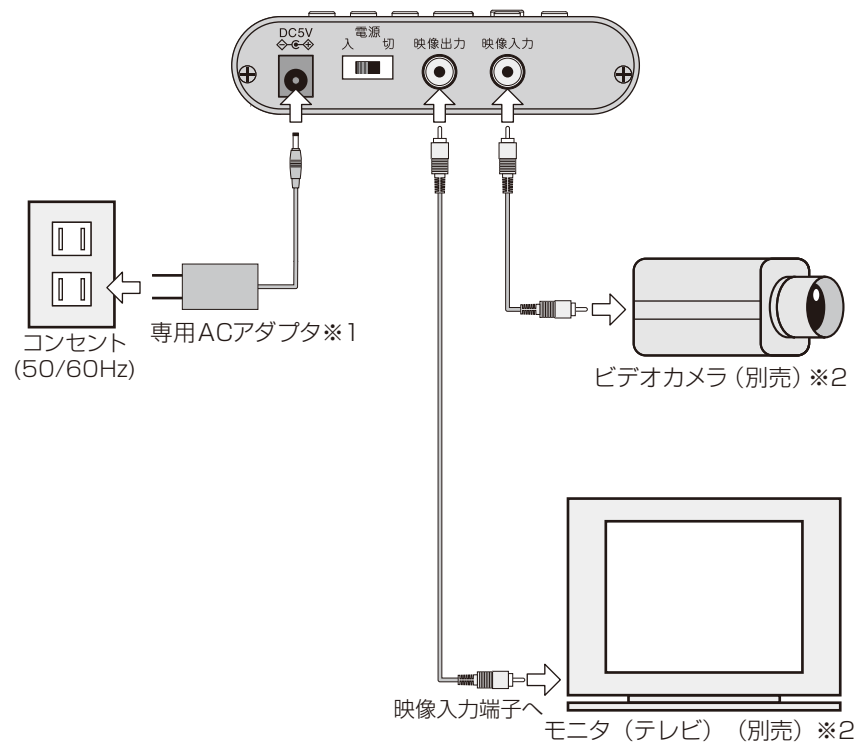
各種外部センサーと連動させて録画することができます。

### ③バイパススイッチ

カメラからの映像入力をそのままモニタ(テレビ)に映し出すときに「入」にします。

## モニタ(テレビ)との接続

DVS-2の画像を表示するためには、DVS-2の映像出力端子とモニタ(テレビ)の映像入力端子を接続することによって、映像を表示することができます。



※1 事故や故障の原因となりますので、

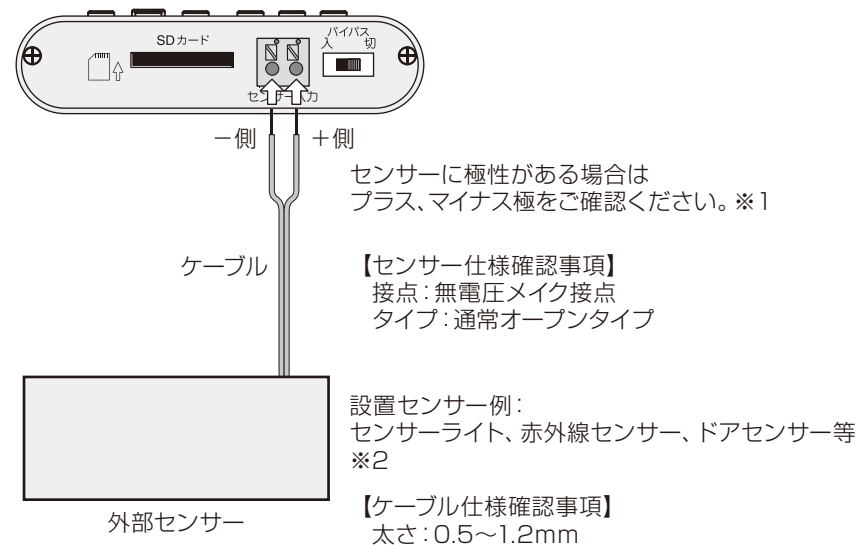
ACアダプタは必ず同梱品の物をご使用ください。

※2 ビデオカメラやモニタへの接続はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

また、接続する機器の電源を切ってから作業をおこなってください。

## 外部センサーとの接続

外部センサーと連動させて録画することができます。  
外部センサーのケーブルをツマミを押しながら穴に入れ、固定します。  
外部センサー使用時もモーション検知録画は有効です。外部センサーのみでご使用になる場合は動作検知機能をOFFにしてください。(P26,27)



※1 外部センサーの接続はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

また、接続する機器の電源を切ってから作業をおこなってください。

※2 接続方法等、センサーの仕様をご確認の上、ご購入ください。

### 注意事項

- ・再生モードに入っている時、外部センサーが作動すると「Choose Folder」画面に自動的に切替りますが、異常ではありません。
- ・外部センサーが検知発報し、DVSが記録を始めるまでに約1秒の誤差が発生します。外部センサーの仕様により、外部センサー自体にも発報から出力までの誤差がある場合がありますので、ご注意ください。

弊社ではセンサー商品の 取扱いがございません。恐れ入りますが、他社商品をお求めください。

なお、外部センサー使用に起因する不具合につきましては、一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

# SDカード (別売) について

## SDカード

- ご使用の前に本機のフォーマット機能にてフォーマットする事をおすすめします。(P33)
- 本機は、最大2GBまでのSDカードを使用できます。
- SDカードは「FAT」形式でフォーマット済のものをご使用ください。  
「FAT32」等他のフォーマットには対応しておりません。  
※他の機器でご使用していたSDカードは、フォーマット方式の違いによりご使用にできない場合があります。
- パソコン等SDカードをフォーマットする場合は、必ず「FAT」形式でフォーマットしてください。

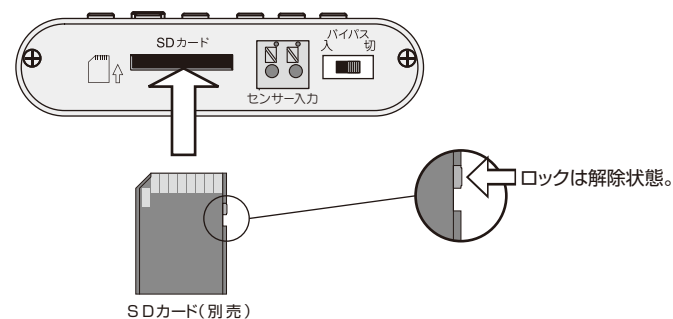
※本機は、起動時にメモリのチェックを行いますので、ご使用のメモリの容量により起動までの時間が異なります。

## SDカードの取り扱い上の注意

- SDカードは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体に留った静電気により破壊される場合があります。SDカードを取り扱う前に、一度金属質のものに手を触れて、静電気を放電してください。
- その他詳細は、お使いになるSDカードのマニュアルで確認してください。

## SDカードの入れ方

SDカードをSDカード差込口に入れる際は下記の図を参照してください。



- SDカードをご使用になる場合は、必ず電源が「切」の状態の時に抜き差ししてください。  
※電源が「入」の状態ではSDカードを抜き差しすると、誤作動・データ破損あるいは、故障の原因となりますのでご注意ください。
- SDカードのロックを必ず解除してから差し込んでください。  
※SDカードがロックされた状態でSDカードを差し込むと、機器がカードを認識しないため起動しません。
- SDカードの向きをご確認ください。接点が上向き状態で差し込みます。

1

## 機器の接続

ビデオカメラやモニタに接続します。

※接続する機器の電源を切ってから接続してください。

➡ P 10

機器の接続へ

2

## 日付・時間の設定

日付・時間の設定をします。

※記録されたデータの管理に必要となります。

➡ P 24

日付・時間の設定へ

長時間使用していると時間がずれることがあります。  
1ヶ月に1度程度、時間を合わせることをおすすめします。

3

## 動作検知感度の設定

動作検知感度(ターゲットバリュー)の設定をします。

➡ P 30

動作検知感度の設定へ

## 基本的な流れ

1. 機器の接続
2. 日付・時間の設定
3. 動作検知感度の設定
4. 映像を録る
5. 映像を見る
6. 映像自動停止

本機はとらえた映像から動きを検知して映像記録データを残す装置です。  
この項では、動画を録るまでの基本的な流れを説明します。

4

## 映像を録る

- a. 画面上に目のマークが表示されたのをご確認ください。
- b. カメラに動きのある被写体をとらえさせて下さい。
- c. 画面上にRECが表示されたら録画が開始されます。

➡ P 26

動作検知機能ON/OFFの切替へ

5

## 映像を見る

- a. 「モード」ボタンを押します。  
再生モードになりました。
  - b. 十字キー「▼」を押してください。  
再生が開始されます。
- ※一時停止、巻き戻し、早送り、停止はできません。

➡ P 35

再生モードへ

6

## 映像自動停止

再生が終了します。

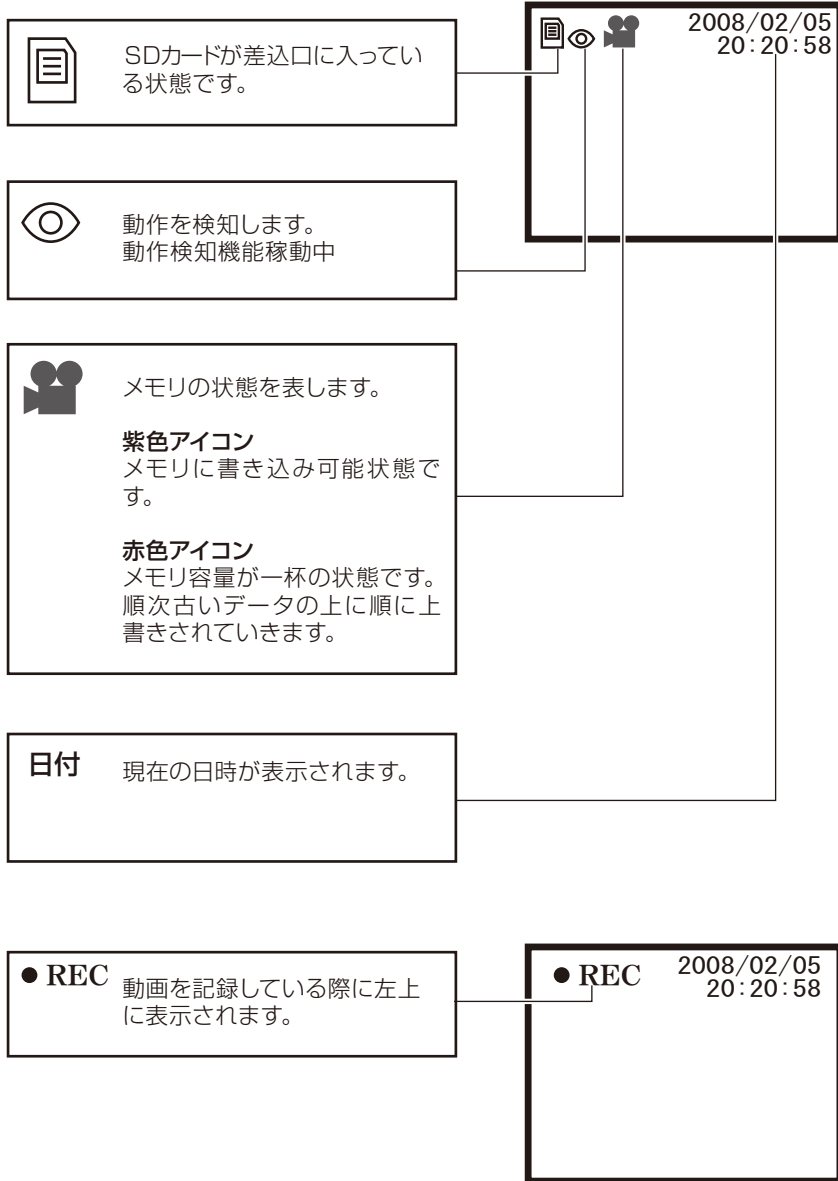
他の映像を見たり、データの一覧を見るにはサムネイルモードなど便利な機能があります。

➡ P 36

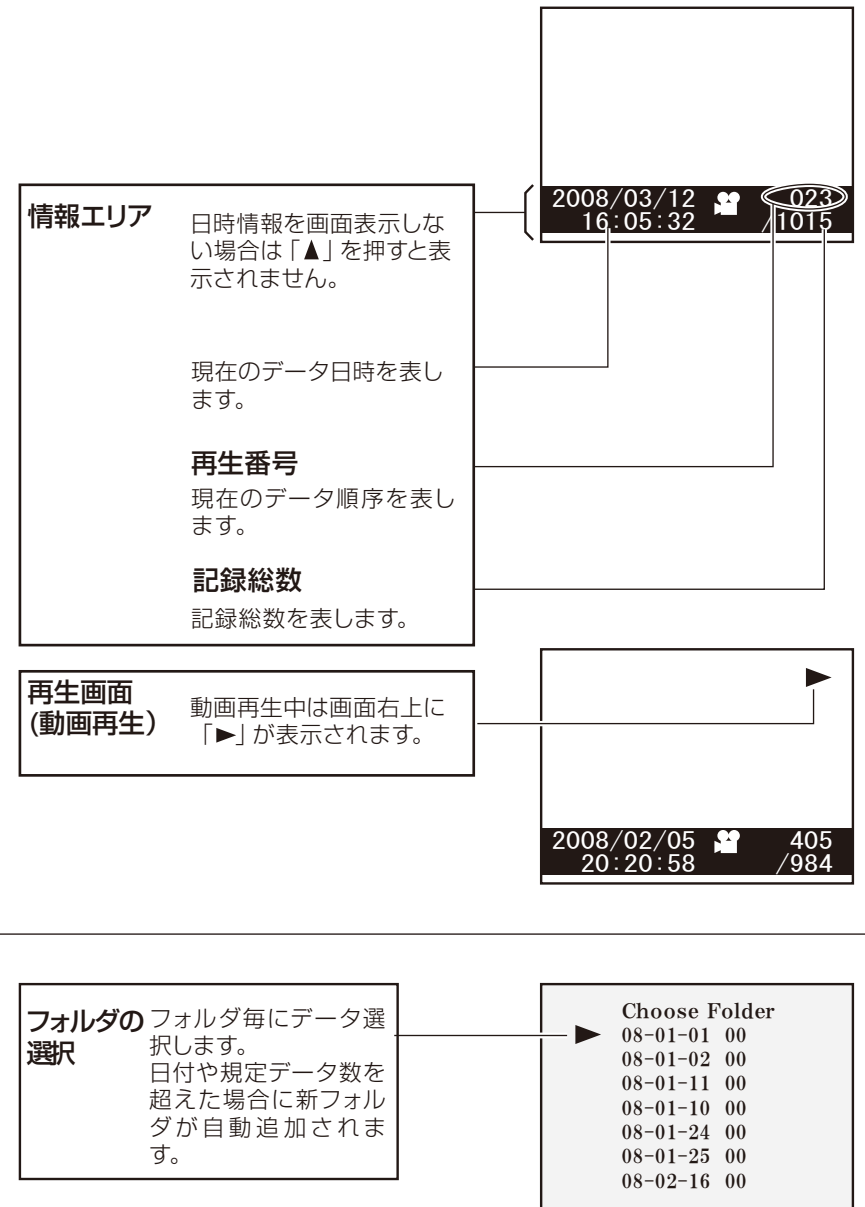
サムネイルモードへ



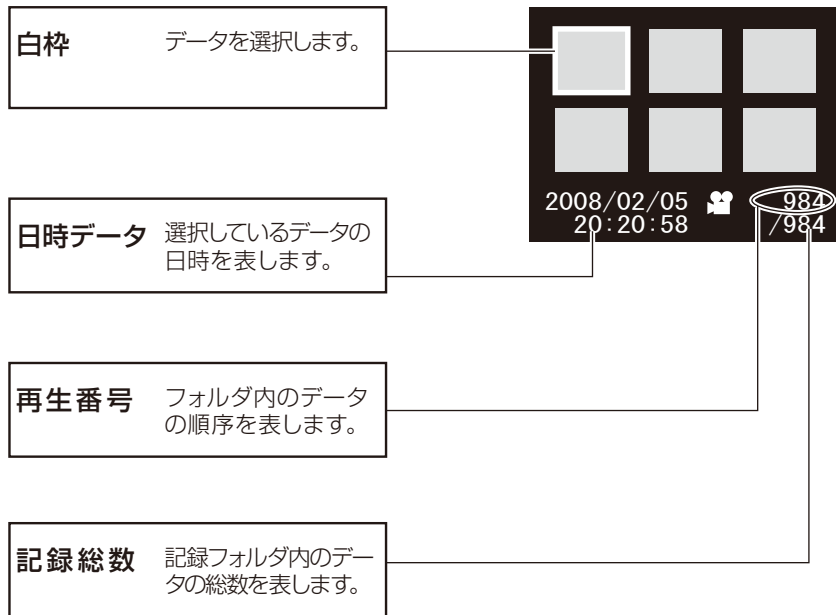
# カメラ画面



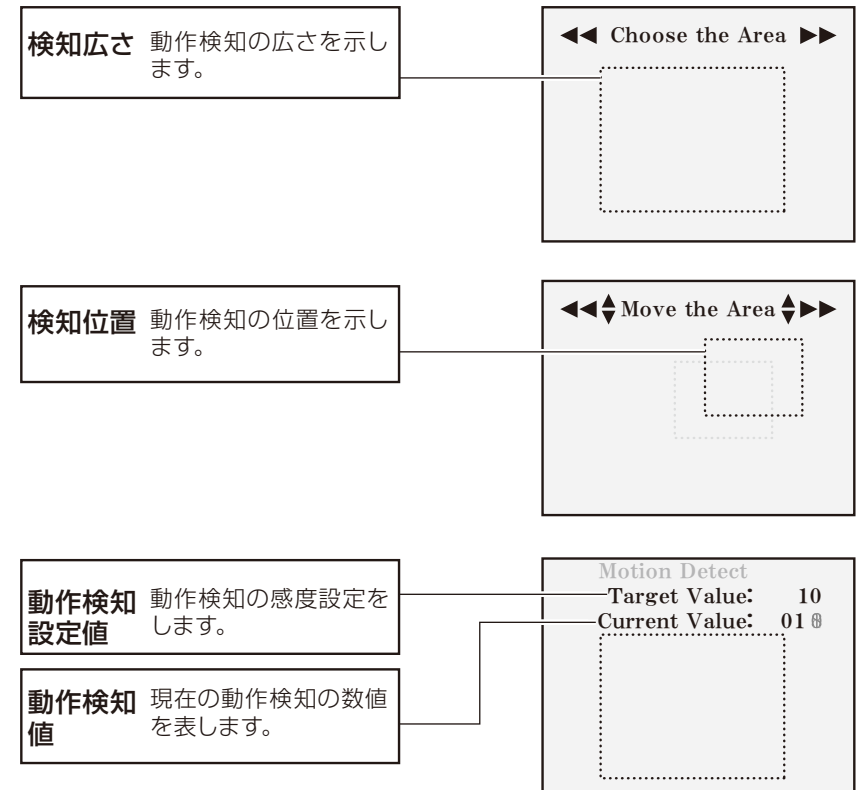
# 再生画面



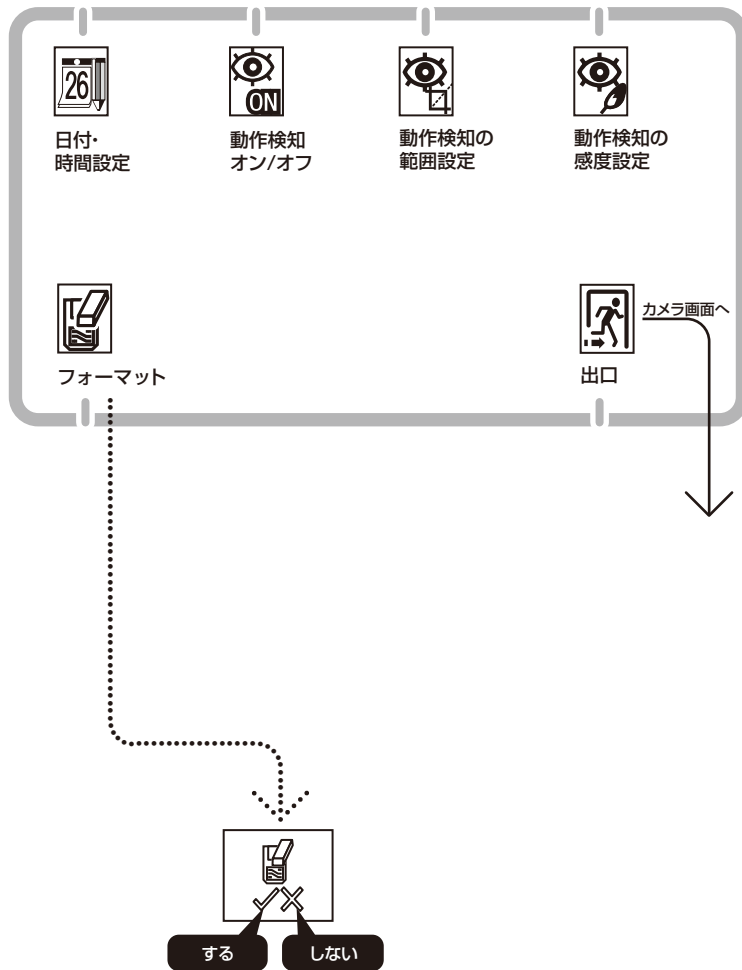
## サムネイル画面



## 設定画面



## 設定画面のアイコン説明



### 日付・時間設定

年/月/日



時/分/秒で設定します。



### 動作検知オン/オフ

動作検知機能のオン/オフを設定します。



### 動作検知の範囲設定

カメラ映像の範囲から動作検知機能が作動する広さと位置を設定します。

動体感知枠  
広さ>>S,M,L  
位置>>任意



### 動作検知の感度設定

動作検知機能の感度を設定します。  
設定範囲:001~099



### フォーマット

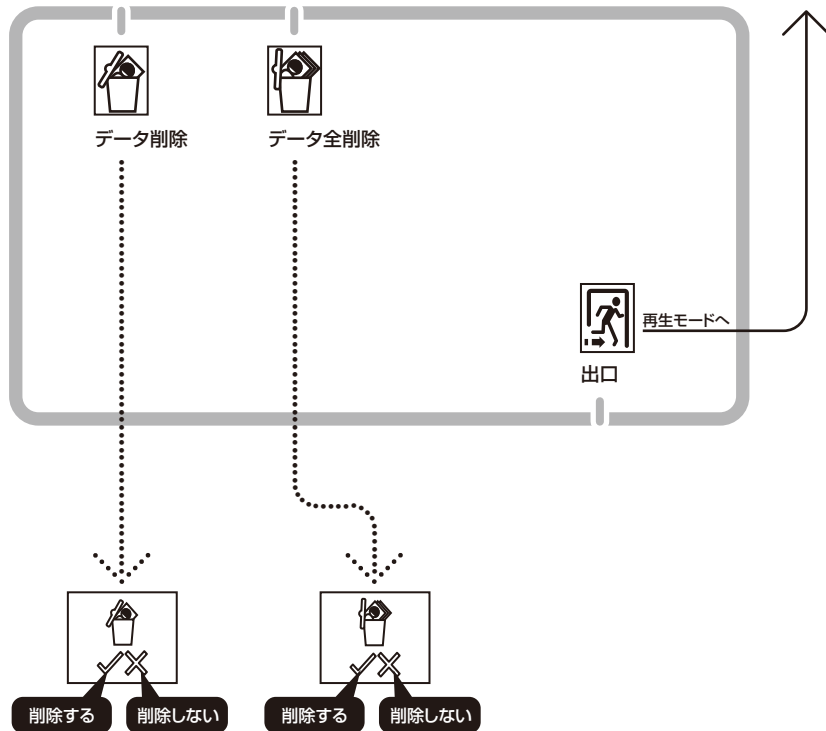
メモ리카ードのフォーマットを行います。



### 出口

カメラ画面へ移動します。

## 削除アイコンの説明



## 削除アイコン



**データ削除**  
再生モードで表示されているデータのみを削除します。



**出口**  
再生モードへ移動します。



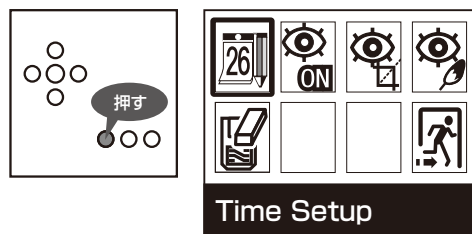
**データ全削除**  
メモリ上の選択されたフォルダ内のデータをフォルダごと全て削除します。

※メモリ上の全データの削除ではありません。前データを削除したい場合はSDカードのフォーマットを行ってください。

1

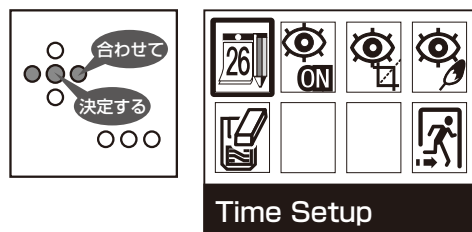
### 準備

カメラ画面を表示してください。  
「メニュー」ボタンを押します。  
設定画面が開きます。



2

十字キー「◀」・「▶」を使って画面  
カーソル（青枠）を日付・時間設定  
アイコンに合わせて。画面下  
部に Time Setup と表示されます。  
「決定」ボタンを押します。



3

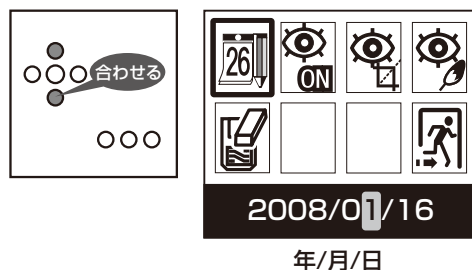
### 日付（年／月／日）の設定

画面下部に年／月／日が表示さ  
れます。初めは日付の設定です。  
十字キー「◀」・「▶」で合わせたい  
場所に移動します。カーソルがあっ  
ている場所が赤く表示されます。



4

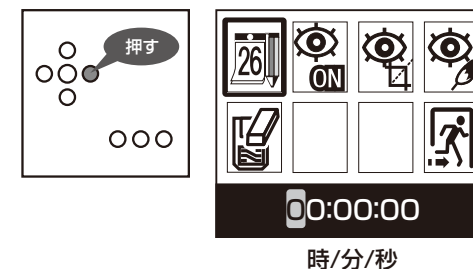
十字キー「▲」・「▼」を年／月／日  
を合わせます。  
次に時間の設定を始めます。



5

### 時間の設定の準備

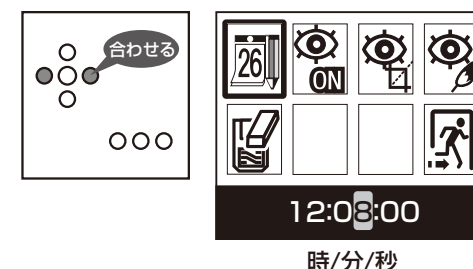
十字キー「▶」でカーソルを年／  
月／日設定の一番右側まで移動  
し、更に「▶」ボタンを押します。  
時／分／秒の設定画面が表示さ  
れます。



6

### 時間（時／分／秒）の設定

十字キー「◀」・「▶」で合わせ  
たい場所に移動します。カーソル  
がっている場所が赤く表示さ  
れます。



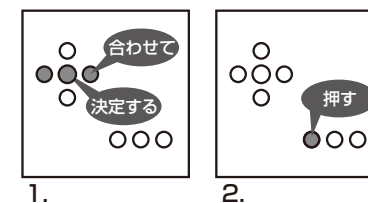
7

十字キー「▲」・「▼」で時／分／  
秒を合わせます。  
「決定」ボタンを押せば設定は終  
了です。  
設定画面に戻ります。



### カメラ画面への戻り方

設定画面からカメラ画面に戻る  
場合、二つの方法があります。  
1. 十字キー「◀」・「▶」で「Exit」  
に合わせ、「決定」ボタンを押す。  
2. 「メニュー」を押す。



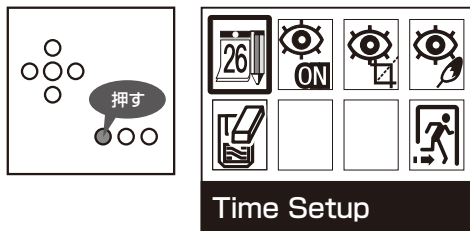
1.

2.

1

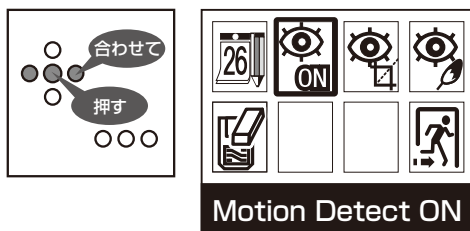
## 準備

カメラ画面を表示してください。  
「メニュー」ボタンを押します。  
設定画面が開きます。



2

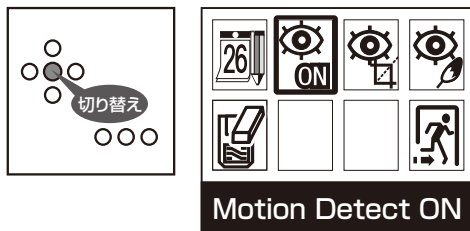
十字キー「◀」・「▶」を使って  
画面カーソル(青枠)を動作検知ア  
イコンに合わせて。画面下部に  
Motion Detect ONあるいは  
Motion Detect OFFと表示され  
ます。  
「決定」ボタンを押し、切り替えます。



3

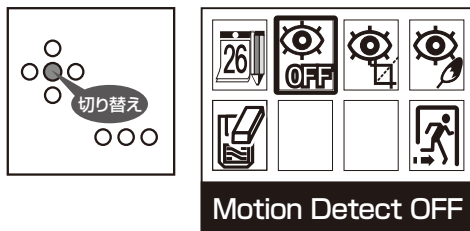
## 動作検知機能作動中

画面表示がMotion Detect ONの  
状態ならば動作検知機能が作動中  
です。



## 動作検知機能停止中

画面表示が Motion Detect OFF  
の状態ならば動作検知機能が停止  
中です。

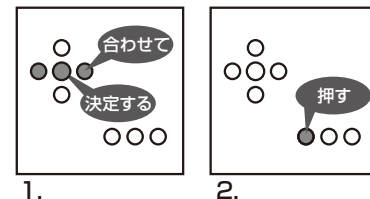


4

## カメラ画面への戻り方

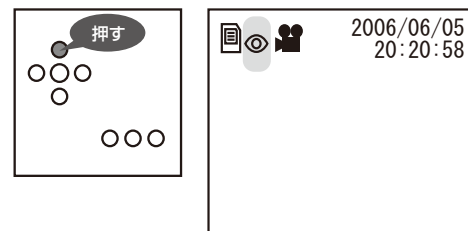
設定画面からカメラ画面に戻る  
場合、二つの方法があります。

1. 十字キー「◀」・「▶」で「Exit」  
に合わせ、「決定」ボタンを押す。
2. 「メニュー」を押す。

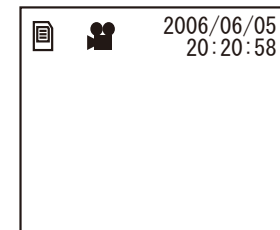


## ワンタッチ設定

カメラからの画像をモニタした状  
態で、十字キー「▲」で動作検知機  
能のON/OFFをワンタッチで切り  
替えができます。



動作検知機能のONの状態

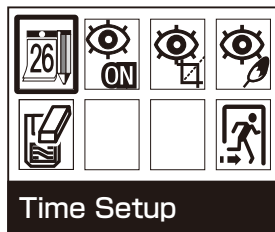
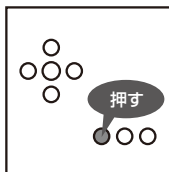


動作検知機能のOFFの状態

7

### 準備 設定画面を開く

カメラ画面を表示してください。  
「メニュー」ボタンを押します。  
設定画面が開きます。

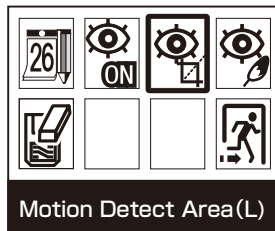
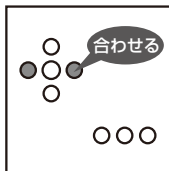


Time Setup

2

### 範囲の広さと位置の設定

十字キー「◀」・「▶」を使って  
画面カーソル（青枠）を範囲設定  
アイコンに合わせて。画面下部に  
Motion Detect Area(L)、(M)また  
は(S)※と表示されます。



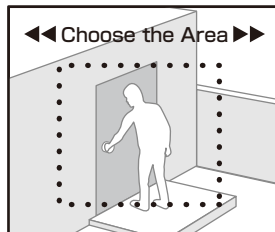
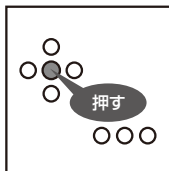
Motion Detect Area(L)

※(L),(M),(S)の表示は設定の状態が反映されています。

3

### 広さの設定

最初は範囲の広さの設定をおこな  
います。「決定」ボタンを押します。  
画面上部にChoose the Areaと  
表示されます。

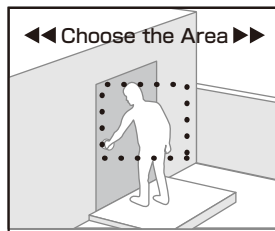
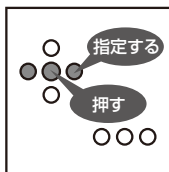


青い点線で表示されている四角形の内側が検知範囲です。

4

### 広さの設定

十字キー「◀」・「▶」を使って検知  
範囲の広さを指定します。  
ご希望の広さを設定してください。  
「決定」ボタンを押します。  
位置の設定画面が開きます。

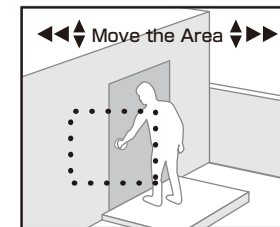
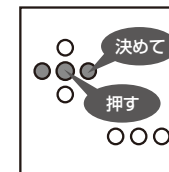


広さは(L),(M),(S)の3段階が選べます。

5

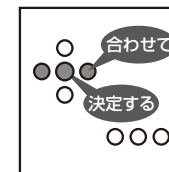
### 位置の設定

十字キー「◀」・「▶」・「▲」・「▼」  
を使って検知範囲の位置を決めま  
す。  
「決定」ボタンを押します。  
設定画面に戻ります。

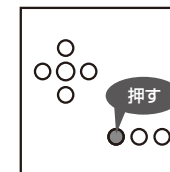


### カメラ画面への戻り方

設定画面からカメラ画面に戻る  
場合、二つの方法があります。  
1. 十字キー「◀」・「▶」で「Exit」  
に合わせ、「決定」ボタンを押す。  
2. 「メニュー」を押す。



1.



2.

本機は動作検知で検知した値 (Current Value) が任意設定値 (Target Value) を超えた時、記録されます。その任意設定値を設定する機能です。任意設定値は01~99の範囲です。

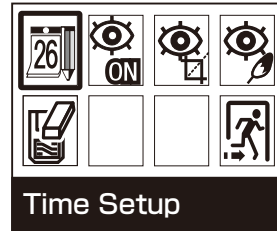
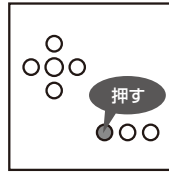
### 設定のヒント

設定値の調整はP32「動作検知の感度設定 2」もご覧ください。

※ご使用になるカメラ、環境によって動作検知される値は異なります。

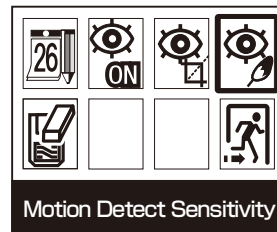
1

**準備** 設定画面を開く  
カメラ画面を表示してください。「メニュー」ボタンを押します。設定画面が開きます。



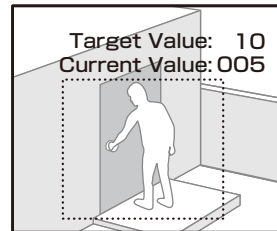
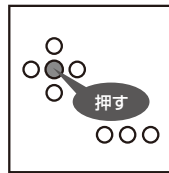
2

**動作検知の感度設定**  
十字キー「◀」・「▶」を使って画面カーソル (青枠) を動作検知の感度設定アイコンに合わせます。画面下部にMotion Detect Sensitivity と表示されます。



3

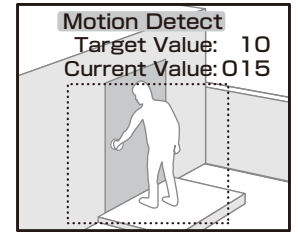
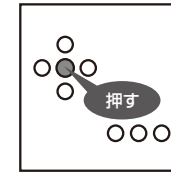
「決定」ボタンを押します。画面上部に Target Value、その下に Current Value※と表示されます。



※Current Valueの値は現在検知している値ですので絶えず変化しています。

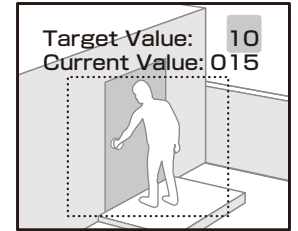
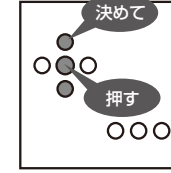
4

映像の変化に反応し、Current Value の値が Target Value の値を超えると画面上部に Motion Detect と赤く表示されます。



5

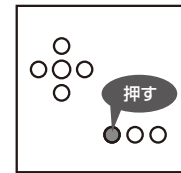
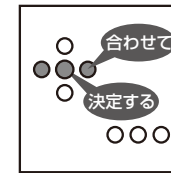
十字キー「▲」・「▼」を使って任意設定値※を決めます。「決定」ボタンを押します。設定画面に戻ります。



※Motion Detectの表示を目安に設定します。

### カメラ画面への戻り方

設定画面からカメラ画面に戻る場合、二つの方法があります。  
1. 十字キー「◀」・「▶」で「Exit」に合わせ、「決定」ボタンを押す。  
2. 「メニュー」を押す。



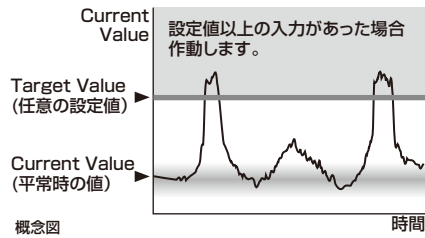
1.

2.

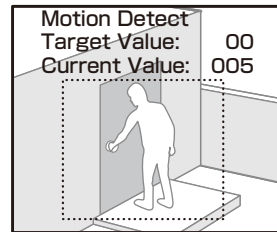


### Current Value とは

カメラが捕らえている画像の変化を数値化した値です。



動作検知の感度設定は、平常時の Current Valueの最大値を(おおよその値)超えた値に設定します。



Current Value は平常時でも変動があります。

※カメラの機種・撮影環境により検知が異なります。  
予め記録設定に熟慮したうえでご使用ください。

本機は単位時間の変化量を検知して作動する方式を採用していますので、短時間内に捕らえている画面に大きな変化が発生した場合、本機の機能が作動する場合があります。

例) 雷、風雨による木々の大きな変化、車のヘッドライトなどでも反応します。

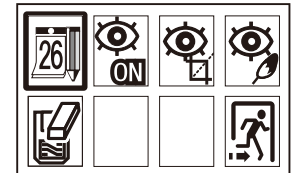
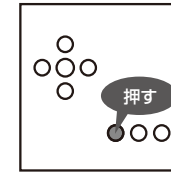
### 1

#### 準備

SDカードを差し込んで電源を入れてください。

カメラ画面を表示してください。  
「メニュー」ボタンを押します。  
設定画面が開きます。

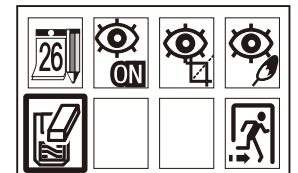
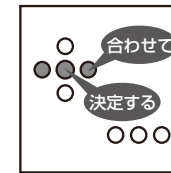
※必ず電源を切った状態でSDカードを差し込んでください。



Time Setup

### 2

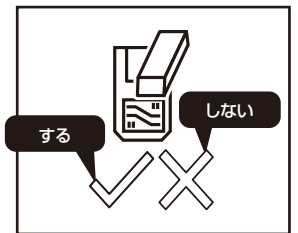
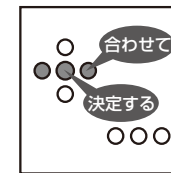
十字キー「◀・▶」を使って画面カーソル(青枠)をフォーマットアイコンに合わせます。画面下部にFormatと表示されます。  
「決定」ボタンを押します。



Format

### 3

十字キー「◀・▶」でカーソルを任意のアイコンに合わせ、「決定」ボタンを押します。※選択の結果が反映され、設定画面に戻ります。

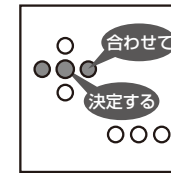


※フォーマットに時間がかかる場合があります。

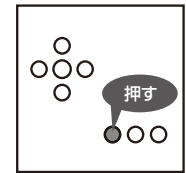
#### カメラ画面への戻り方

設定画面からカメラ画面に戻る場合、二つの方法があります。

1. 十字キー「◀・▶」で「Exit」に合わせ、「決定」ボタンを押す。
2. 「メニュー」を押す。



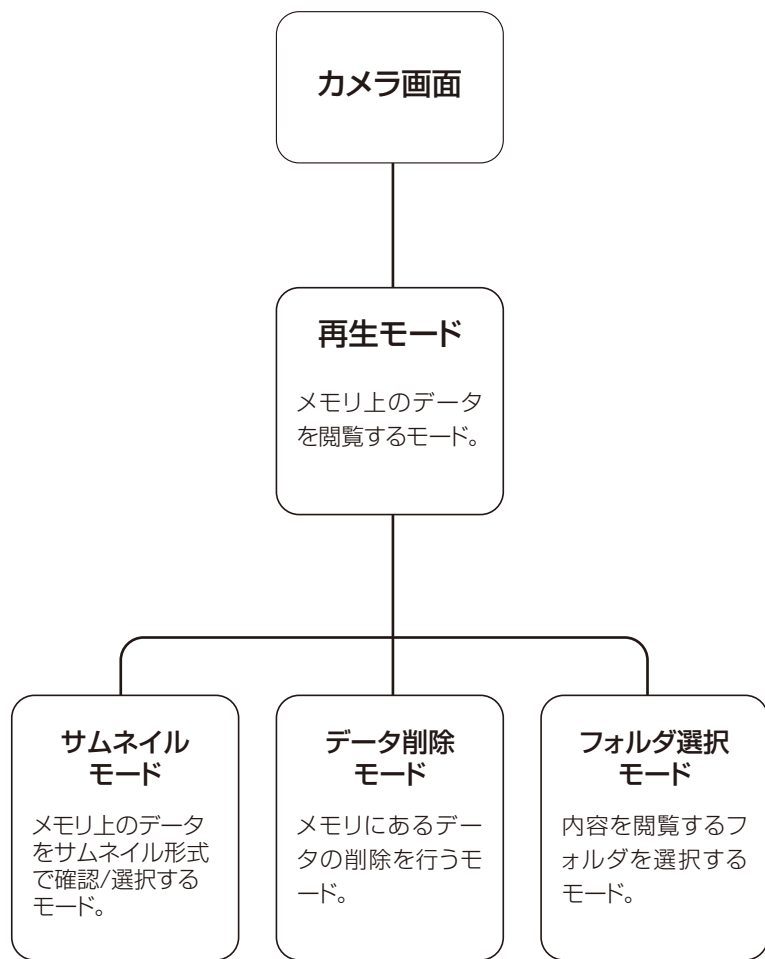
1.



2.

# モード

モードは再生モード、データ削除モード、サムネイルモード、フォルダ選択モードに分かれています。

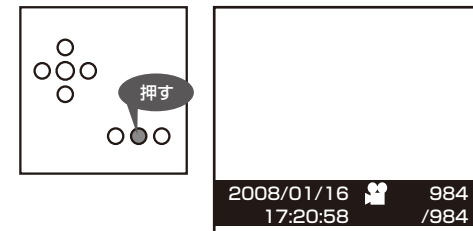


# 再生モード

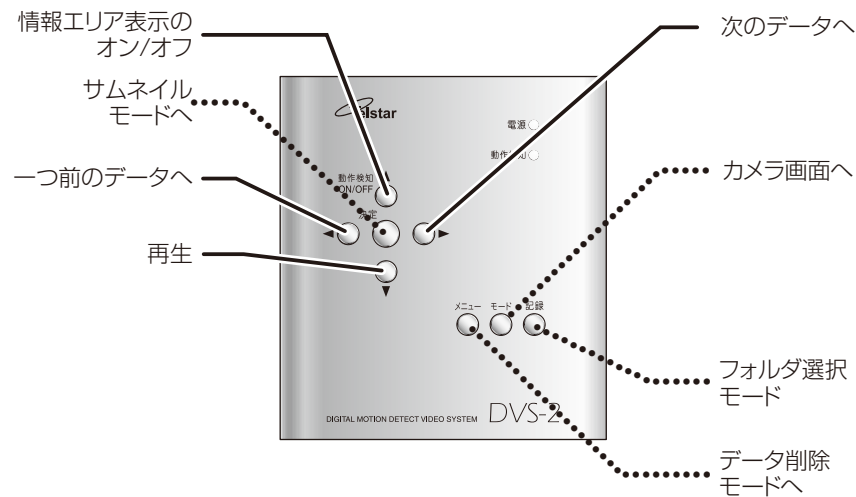
7

## 再生モード

「モード」ボタンを押します。  
記録したデータの再生を行います。  
記録したデータの選択も可能です。  
(データ1つ送り・1つ戻し)



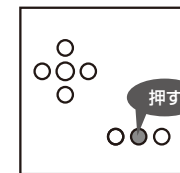
## 再生モードでのボタン操作



2

## カメラ画面への戻り方

「モード」ボタンを押す。

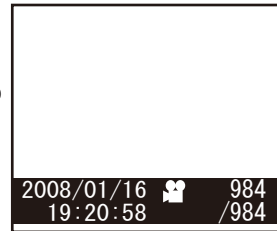
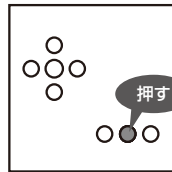


# サムネイルモード

1

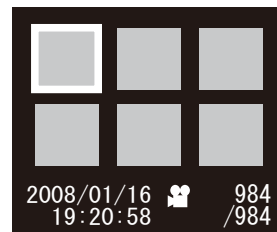
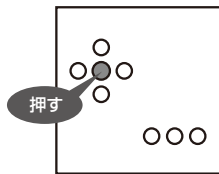
## 準備

カメラ画面を表示してください。  
「モード」ボタンを押します。  
再生画面が開きます。



2

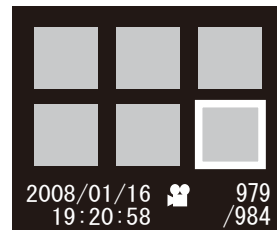
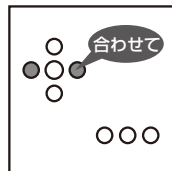
「決定」ボタンを押します。  
サムネイル画面が開きます。



3

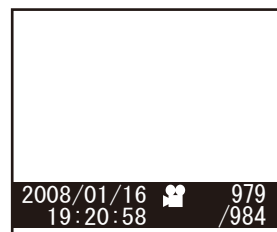
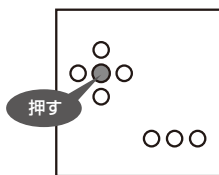
## サムネイルの選択

十字キー「◀」・「▶」で合わせたいサムネイルに移動します。カーソルが当たっているデータが白い枠で囲まれます。



4

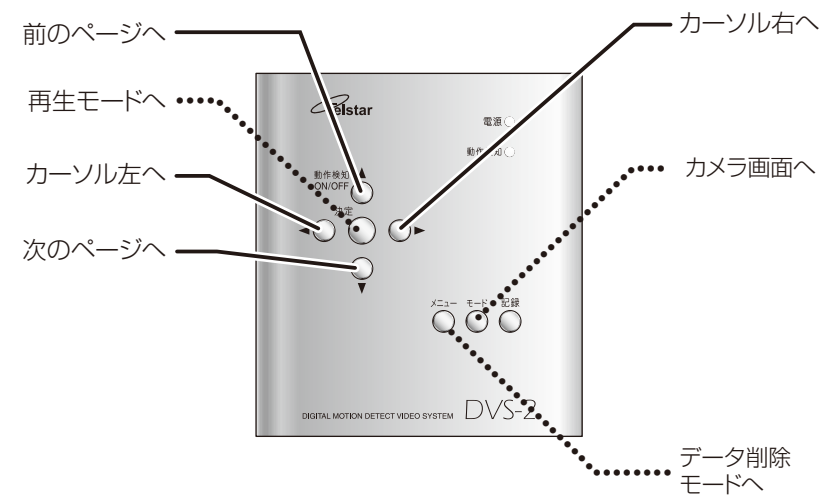
「決定」ボタンを押します。  
再生画面が開きます。



## サムネイルモード

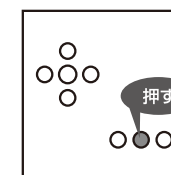
サムネイルモードは、サムネイルによってデータを確認し、選択することが出来ます。  
サムネイルは1ページ最大6枚のデータで構成されています。

## サムネイルモードでのボタン操作



## カメラ画面への戻り方

「モード」ボタンを押す。

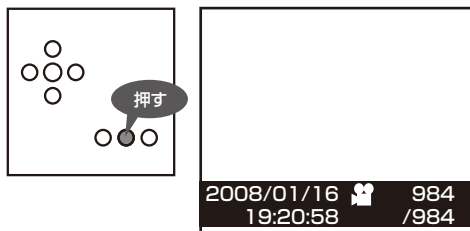


## データ削除 Delete One

1

### 準備

カメラ画面を表示してください。  
「モード」ボタンを押します。  
再生画面が開きます。



2

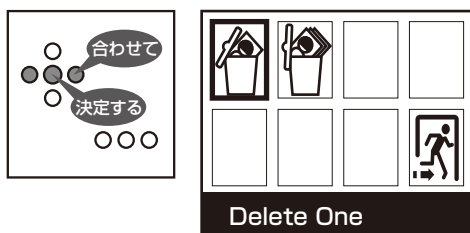
### 削除メニューを開く

「メニュー」ボタンを押します。  
削除メニュー画面が開きます。



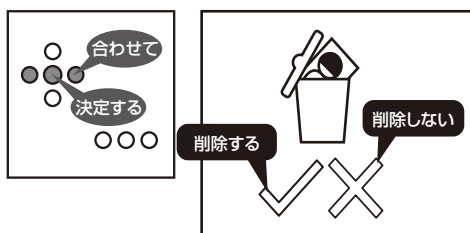
3

十字キー「◀」・「▶」でカーソルを  
データ削除アイコンに合わせます。画面下部に Delete One 表示  
されます。  
「決定」ボタンを押します。



4

十字キー「◀」・「▶」でカーソルを  
任意のアイコンに合わせ、「決定」  
ボタンを押します。  
選択の結果が反映され、再生画面  
になります。

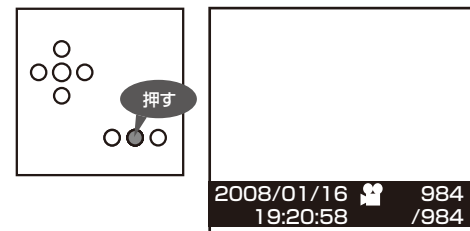


## データ全削除 Delete All

1

### 準備

カメラ画面を表示してください。  
「モード」ボタンを押します。  
再生画面が開きます。



2

### 削除メニューを開く

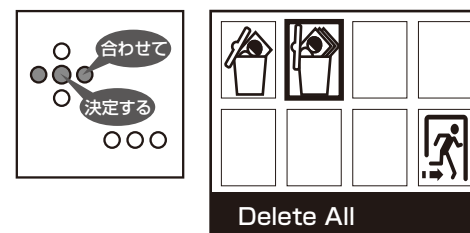
「メニュー」ボタンを押します。  
削除メニュー画面が開きます。



3

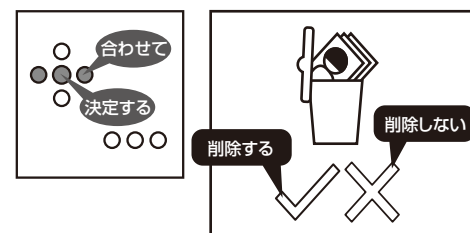
十字キー「◀」・「▶」でカーソルを  
データ全削除アイコンに合わせます。画面下部に Delete All と表示  
されます。  
「決定」ボタンを押します。

※現在のフォルダーのみ削除されます。



4

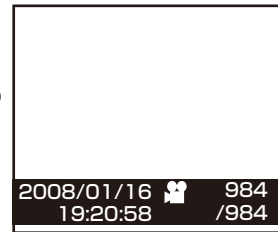
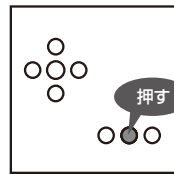
十字キー「◀」・「▶」でカーソルを  
任意のアイコンに合わせ、「決定」  
ボタンを押します。  
選択の結果が反映され、再生画面  
になります。



1

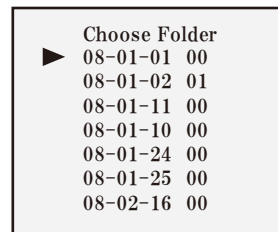
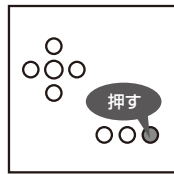
## 準備

カメラ画面を表示してください。  
「モード」ボタンを押します。  
再生画面が開きます。



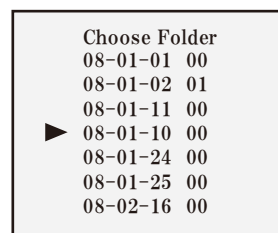
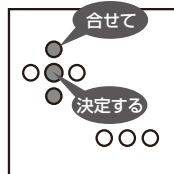
2

フォルダ選択メニューを開く  
「記録」ボタンを押します。  
フォルダ選択メニュー画面が開きます。



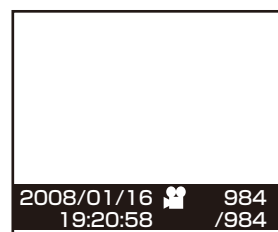
3

十字キー「▼」・「▲」で任意のフォルダ名に合わせ、「決定」ボタンを押します。



4

選択されたフォルダ内の最初のデータが再生画面に表示されます。



## フォルダについて

- 最初のデータが記録されたとき。
  - 日付が変更され最初のデータが記録されたとき。
  - フォルダがいっぱいになったとき。
- 上記の条件でフォルダは自動的に製作されます。

## フォルダ名について

フォルダ名は日付とその日に作られた順番の各2桁の数字で構成されます。(順番は00からはじまります。)

例)

2008年1月1日 最初に作られたフォルダ

